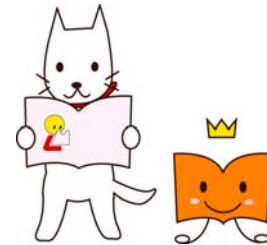




## 平成 24 年度 第 1 回 One Book One OSAKA 事業子ども運営委員会

1. 日 時 : 平成 24 年 8 月 2 日 (木) 午後 1 時 15 分～3 時
2. 場 所 : 大阪市立中央図書館 5 階 中会議室
3. 出席者

別紙のとおり



### 4. 会議内容

#### ・ 議事

#### (1) 「大阪市 One Book One OSAKA 事業」のこれまでの経過<sup>けいか</sup>について

- One Book One OSAKA ニュース 18 号、19 号参照
- 4 月 4 日 <sup>きょういくちょうほうこくかい</sup> 教育長報告会
- 4 月 23 日 第 3 回 One Book <sup>はっぴょうかい</sup> 発表会
- 4 月 28 日 春のおたのしみ会



中央図書館 5 階中会議室で開催の「春のおたのしみ会」において、子ども運営委員が『おまえうまそうだな』（宮西達也作 ポプラ社刊）と『もこもこもこ』（谷川俊太郎作 文研出版刊）の読み聞かせを実施。参加者 81 名

- (2) 平成 24 年度第 1 回運営委員会 (7/25) 報告
- (3) 今後の子ども運営委員会について
- (4) 平成 24 年度の今後の事業・関連イベントについて

- 大阪市立図書館の One Book One OSAKA 事業計画案
- <sup>うんえいいいん</sup> 子ども運営委員による <sup>かんれん</sup> 関連イベント
- 平成 24 年度第 2 回子ども運営委員会 (10 月予定)
- 平成 24 年度第 3 回子ども運営委員会 (2～3 月予定)



## 【事務局より 予算がないなかでの本事業の継続案について 説明】

- ・ 今年度後半より、One Book One OSAKA 実行委員会を立ち上げる。実行委員会で、企業からの協賛金や広告公募等により別途財源の確保を検討し、平成 25 年度の投票事業の実現を目指し活動していく。関連イベントについては、毎年ではなく、例えば、投票の翌年より各区で補助金等の交付申請も検討しながら実施していく。
- ・ 子ども運営委員の活動は今年度までを想定。今後は、1 年任期（再任あり）ではなく、関連イベントごとの子ども実行委員（ボランティア）の募集を検討。
- ・ 区やブロック毎の区単位で子ども実行委員（ボランティア）募集し、活動することも検討。

## ■子ども運営委員からの意見

### 【本事業全般について】

- ・ One Book One OSAKA の投票については、上位ランキングにあまり変動がないので、3 年に 1 回でもよいかと思う。
- ・ 投票ランキングにより上位絵本についてのイベントを 3 年間で実施し、マイナーな絵本については小規模のイベントで取り上げていくなど、みんなにいろんな絵本を知ってもらうきっかけづくりにすればよいと思う。



### 【子ども運営委員会の今後について】

- ・ 大人の運営委員会に先月出席したが、非常に緊張した。ああいう場で子ども運営委員が自由に意見を言うのは大変。実行委員会を立ち上げるにしても、これまでの子ども運営委員会のように、子どもの声を自由に言える場が別にあったほうがよい。
- ・ 絵本を読んでもくれる地域館のボランティアさんから勧められて、子ども運営委員に応募した。この活動はとても楽しいので、投票よりも子ども運営（実行）委員の募集や関連イベントなどの活動をメインにしてみればどうだろう。
- ・ 子ども運営委員の募集にもっと力を入れるべき。あまり知られていない。たまたま図書館のチラシで知ったが、投票用紙のように募集ポスターも小学校などに配ったらよいと思う。
- ・ 子ども実行委員（仮称）の活動が区の単位になるとしても興味はある。しかし、中央図書館などの大きな会場でイベントや発表会をするほうが、お客さんも多く集まり、やりがいがある。
- ・ 1 万票以上の開票作業が大変だと聞いたが、お手伝いをしてみたい。難しいことは出来ないが、タイトルを五十音順に並べ替えたりするのは出来そう。お気に入りの理由や絵を見る作業も楽しそう。
- ・ 区の図書館で開票作業のお手伝いの募集があれば、応募してみたい。



- ・ 子ども運営委員の応募には、小学4年生から中学3年生までの年齢制限があったが、こういう活動は高校生になってもやってみたい。
- ・ 子ども運営委員は学校行事や部活等で忙しい。1年任期では、年間を通じて開催されるイベントに日程調整をしてもらっても参加できない場合もあり、なかなか全員揃わない。日程が決まっているイベント毎に、募集をかけ、参加できる人が応募するというやり方でもいいと思う。

### 【投票手法について】



- ・ 同一シリーズの絵本でお気に入りの1冊の絵本を選びにくかったので、シリーズ名での投票でもよいのでは？
- ・ 作者名での投票などいろんな角度から投票することが出来るというのもよいのでは？
- ・ 投票するにあたって候補リストを作るという案が出ているが、リストはなくてもよいと思う。今までのやり方がよいと思う。
- ・ リストをつくってそこから選ぶのはどうかと思う。好きな絵本がリストの中に選ばれてなかったらいやだから。
- ・ リスト以外の絵本にも投票できるという自由記入欄があるのならそれでもよいと思う。
- ・ インターネットを使った投票については、どんどんやっていったらよい。たいていの家にはインターネットが使える環境がある。
- ・ 投票数増を求めるのならネットも効果的かもしれないが、もっと地道にやっていきたい。投票用紙にじかにお気に入りの理由を絵や文章で自由に記入するという手法が気に入っている。
- ・ 両方、紙でもインターネットでも実施すれば、事務局が考えている10代後半、20代の方からの投票は確実に増えると思う。

### 【秋のOne Book イベント企画について】



8月2日午後からと8月7日に、秋の関連イベントの企画について議論し、準備作業に取り掛かる。